

大矢好治顕彰会 平成14年度大矢賞受賞者



受賞者台56号

1. 氏名 大澤 憲一
2. 生年月 昭和22年12月
3. 現住所 群馬県前橋市富田町727
4. 略歴
 - 昭和41年3月 群馬県立勢多農林高等学校卒業
 - 昭和44年6月 アメリカ ピッツェント大学、イハレット大学専修課程修了
 - 昭和44年7月 前橋市富田町にてバラの切り花栽培を営む
 - 昭和55年4月 前橋市花植木組合連合会バラ部会長
 - 昭和55年7月 農事組合法人「東前橋温室バラ組合」設立組合長
 - 昭和61年4月 日本ばら切花協会理事
 - 昭和62年1月 日本ばら切花協会群馬県支部長
 - 平成元年10月 群馬県農業経営士
 - 平成2年 1月 前橋バラ組合設立組合長
 - 平成4年10月 日本ばら切花協会会報委員長
 - 平成6年 4月 日本ばら切花協会副会長
 - 平成10年4月 日本ばら切花協会会長
 - 平成12年6月 前橋市農業協同組合理事
 - 平成13年5月 群馬県総合表彰

5. 業績

昭和44年、アメリカで2年間研修の後、帰国後、前橋市富田町でばら切花栽培を開始する。昭和46年には、日本ばら切花協会群馬県

支部の設立に尽力され、バラ栽培の産地化や、バラ栽培を始める方々の技術指導、仲間作りなど現在の県内バラ生産の礎を築いた。平成2年には、3名で組織していた「農事組合法人東前橋温室バラ組合」を基礎に、12名で13,000坪の前橋バラ組合を設立し、完全共選共販体制を確立した。

また、群馬県農業経営士として活躍し、群馬県の農業関係の策定委員や、評価委員として、農業振興全般にわたり活躍貢献し、平成13年には群馬県総合表彰を受賞し、絶大な評価を得ている。

日本ばら切花協会においても、理事就任後は会報委員長、副会長、会長を歴任した。特に会長就任時は大変厳しい時代であり、特別委員会を立ち上げ、アーチング等技術の問題、生産者育種をはじめ、苗の Patent 等あらゆる難問題に取り組むとともに、青年部の設立や日ばらのホームページ開設等、より会員のための協会であるよう運営に貢献された。

また、海外にも目を向け、輸入バラの実態や状況を知るべく、中国や韓国に視察団を組織、外国の状況を調査し、日ばらの会員が国際社会の中でも生き抜くすべを築き上げた。